

11月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和5年11月末現在〕

令和5年12月13日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「収益状況」は改善し、「売上高」は悪化した。

業種別では、「景況」は製造業、非製造業ともに改善し、「売上高」は製造業では改善し、非製造業は悪化した。また、「収益状況」は製造業では変化がなく、非製造業では改善した。

「売上高」については非製造業が悪化したため、全体の数値を押し下げた。小売業では、客単価は上昇したが、客数は減少したとのコメントもあった。

景況DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の▲15.4ポイント、非製造業は、前月比4.1ポイント改善の▲4.2ポイント、全体では、前月比4.0ポイント改善の▲10.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比3.9ポイント改善の▲11.5ポイント、非製造業は、前月比1.7ポイント悪化の0.0ポイント、全体では、前月比6.0悪化の▲6.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比増減なしの▲23.1ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイントの改善の▲12.5ポイント、全体では、前月比4.0ポイント改善の▲18.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	学校給食パン	来年度に向けて学校給食パンの加工賃交渉が本格化している。各組合員が各自担当自治体に交渉を持ちかけている。原材料高騰や最低賃金の引き上げに伴う人件費の高騰等、加工賃を引き上げる理由はあるが交渉経過は芳しくない。
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県10月の清酒課税移出数量は、前年同月比98.3%であった。本格焼酎については、同116.1%であった。特に主力の清酒は4月より7ヶ月連続の対前年割れで減少に歯止めがかからない状況となっている。若者を中心に日本酒離れが進んでいることと、物価高による個人消費の節約または選別が起きていると考えられる。また、営業戦略や酒質の違いにより酒蔵間の売上格差が開いてきている。数は少ないが、売上高が増加している酒蔵もある。 ○県内当業界について 11月8日に発表となった第94回関東信越国税局酒類鑑評会にて当県から吟醸酒部門で5蔵、純米吟醸酒部門で5蔵、純米酒部門で2蔵が優秀賞を獲得した。しかし、今年は優秀賞の上の最優秀賞と特別賞が当県からは無かった。高い品質が商品競争力の基本となることから来年を見据えて今年の酒造りに注力している。
	納豆	土産品としての納豆は、先月に引き続き底堅い状況が続いており、この状況が年末年始の帰省シーズンの需要の更なる底上げに繋がる事が期待されている。また本県は体験王国いばらき割(茨城DC)が12月27日まで行われており、個人旅行を対象とした支援割も行われており、それに起因するのかが否かまでは明確ではないものの、現時点では感覚的に観光需要の上昇が感じられる。また量販店向けも前月同様であり、コロナ禍のような悲観的な声はあまり聞こえてこない。ただし資金繰りに関しては特に具体的な話は出ていないものの、潜在的なリスクは懸念される。
	菓子	新型コロナウイルス感染症も収束に向かい、お祭りやイベントが復活している。これによりやや売上高が上向きとなっているが、店頭販売は依然として低迷している。
	漬物	原材料(大根)を栽培している組合員は、今が最盛期となっている。今年は、天候の影響により原材料が不作であり、質の問題等でメーカーの需要に追いつくのが懸念される。
繊維工業	県北地区外衣シャツ	従業員の高齢化に伴い、退職者の増加が見込まれる。併せて、縫製の経験者が不足しているため、新規雇用が見込まれない。
木 材 ・ 木 材 製 品	製材	・国産材の構造材は、品薄感はあるが弱保合、造作材・羽柄材は保合で推移した。 ・外材についても、荷動きは低調で、価格も小幅高で推移した。 ・原木については、杉の価格は保合、桧は急騰している。
	県北地区プレカット	月間加工坪数は目標の60%を達成。11月の加工予定は現状各週4棟ほどあり。木材価格は上昇している。米松材や集成材に一部欠品があり、材料が入らず加工ができない傾向にある。
	県央地区プレカット	11月は機械加工以外の加工もあり、工場生産は忙しい状況となった。米松材の入荷予定が分からず、加工スケジュールの見直しが多くなっている。見積物件が少なく、年明け以降の加工に影響が出そうである。
紙・紙加工品	段ボール	11月の段ボール業界の売上高の実績は、大手企業は前年同月比1~2%ダウンしており、中小企業は同10~20%以上ダウンという結果で大手企業と中小企業の差がますます広がった。世の中の消費が落ちていると思われる。例年、11~12月は、お歳暮等で需要が増える時期であるが、あまりその傾向が見えない。銀行などの融資等の対応は変化無しである。
印刷	総合印刷	年末を控え、受注面での期待は大きいですが、ペーパーレス・デジタル化の波は否応なしに押し寄せ、それに輪をかけて足かけ3年にわたるコロナ禍の中で社会の動きも大きく変化し、印刷の仕事は減少している。更に印刷資材の値上がりに加わり、収益状況、資金繰りで窮屈な状況が続いている。
窯 業 ・ 土 石 製 品	コンクリート製品	県土木部が積算の際、物価資料の平均値により単価を決定している製品のうち、長尺U字溝300と同蓋が約3%、深溝U字溝300×500、300×600、300×700が約6%上昇したが、土木部単価には反映されていない。
	陶磁器	JR東日本、県等による茨城デスティネーションキャンペーンの効果もあり、笠間市内の主な観光地は平日でもお客様で溢れていた。今まで笠間に来たことがない方にもう一度来ていただけるよう魅力を発信していきたい。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	鉄鋼・金属	鉄鋼	受注量は前年度より1割程度減少した。設備関連部品・機械部品等の業種で受注が減少した。自動車部品関連の受注も良くない。10月後半から11月の売上高減少と原材料・資材の価格高騰が続いているため、今後の資金繰りに悪影響が出てくると思われる。工業薬品についても値上がりした後、高値の状態である。燃料等石油製品や電気料金等も高値である。
	一般機器	生産用機械	対象7組員(製造会社)の売上高は前年同月比で1社増加、6社減少であった。団地全体の売上高は、主要取引先からの受注が前年同月比72%と減少したことを主要因として4か月連続で減収となった。組合員の従業員も、正社員数は変わらないが派遣社員数の減少により前年同月比減少となった。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	売上高は上昇傾向にあるが、収益面はやや圧縮傾向にある。全体の生産高は増加しているが、組合員間ではばらつきがみられる。
非 製 造 業	卸売業	生鮮魚介	精算所取引高は前年同月比103.96%。前月同様、取扱高は前年を上回っているが、取引数量は伸び悩んでいる。商品単価の上昇が続いている中、人の流れはコロナ禍前に戻りつつあるため、今後のクリスマスや年末年始の荷動きに期待している。
		袋セメント	・袋セメントの11月出荷数量は48千袋、前年同月比125.9%の実績。 ・12月1日出荷からの卸価格1袋当たり75円(3,000円/t)の再値上げが決定しているため、駆け込み需要が発生した。
	小売業	県北地区共同店舗	売上高は前月同月比96.12%、客数は同112.69%、前年同月の売上高を確保できた店舗は38.46%となった。プレミアム商品券の影響があった店舗は好調である。
		県央地区共同店舗	館全体の既存店の売上高(客数)は、前年同月比103%(101%)となり、前年同月より良い結果となったが、昨年は同月に1店舗がリニューアルのために休業していたため、その分を考慮すると実質は前年と同じ程度の結果となった。 主要業種：食品107%(104%)、飲食101%(94%)、ファッション102%(99%) 気温も下がり始めたため、冬物製品の売上高が増加した。飲食店でも頻りに値上げとなっており、客単価は上がっているが、客数の減少が顕著にみられる。
		県南地区共同店舗	客単価は上昇しているが、客数が減少しており、売上高が減少している。特に11月は客数の減少が著しい。
		家電	売上高は組合員間でばらつきがみられた。顧客のニーズにあわせて営業スタイルを従来のスタイルから変えている組合員は売上が伸びているように思われる。今後、多様化する顧客のニーズに応えられる提案をしなければ、生き残れない。
		燃料	国の燃料油価格激変緩和策により燃料油価格は抑えられているものの、レギュラーガソリンの価格は170円/Lを超えており、販売数量は減少している。今年の11月は暖かく、灯油の需要も少なかった。また、電気代、その他の経費は上がっているものの、国の補助金もありコスト転嫁しにくい。
		中古自動車	11月期の販売価格は前年同月比増減なしであったが、販売台数が同107.8%と増加したため、売上高は107.9%と上昇した。しかしながら、過去3年の販売台数と売上高と比較すると今期の実績はまだまだ低い水準である。
		食料品	当組合は食品流通業であり、組合員の売上高に関しては、新型コロナウイルスの中で食のライフラインを担っている。11月の売上高は前年同月比で101%となり、10か月連続で前年超えを達成した。来店客数は前年比100%と増減なしであった。部門ごとの売上高は前月に引き続き、11月も青果部門、惣菜部門、日配品、一般食品の飲料が前年同月を上回った。豆腐、納豆、チルド麺等の日配品が前年同月比105%と大きく伸びた。課題であった鮮魚部門も11月は前年同月比101%と回復した。 ただし、販売点数は昨年を下回っており、相場高、メーカー値上げによる売上高の増加となっている。
		野菜・果実	11月は野菜果実合計で前年同月比96.7%の取扱高となった。酷暑と降雨不足の影響により夏から続いていた高値も10月末からはようやく落ち着きを見せ始め、価格が低下した。
商店街	水戸	引き続き、人手不足、原材料高騰や水道光熱費の上昇が続いている。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の前年同月比は、普通車・軽自動車ともに微増したが、原価が高騰しており、収益状況は悪化し始めている。	
	旅館、ホテル	JR東日本、県等の茨城デスティネーションキャンペーンや体験王国いばらき割の延長並びに、地域のイベントの効果により引き続き集客が増えている地域がある。集客地域についても、県内及び関東地域が多くを占め、台湾や香港等の東南アジアからのインバウンドが堅調な地域がある。	
	建設業	総合	大きな景況変化はなかった。各組合員とも年度末に向けた工事の受注も順調である。
	運輸業	軽貨物自動車	当月の組合員数は105名、車輛台数は134台で前月と比較して1名減少、2台減少であった。また、運送売上高については、前年同月比97.9%であった。全国連合会での当月の組合員数は6,340名、車輛台数7,534台で前月と比較して56名減少、58台減少であった。
一般貨物自動車		主要顧客の発送物量は、昨年より少し減少したが、輸送運賃の値上げがあり、その分売上高は増加した。一方、人件費等の経費も上昇しており、収益は厳しい状況が継続している。燃料価格については、先月は少し下ったが、今はまた徐々に値上がりして高値であり、厳しい状況となっている。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食回数増要望
	納豆	全体的に底堅いとは言え、特に土産品業界はコロナ前に及ばない状況が続いているので、年明け後も何らかの支援を期待したい。また明確にポストコロナと言ってよいのかどうかは現時点では判然とはしないものの、それでも5類移行後は公的な行動抑制を行っていない中で、それなりに売り上げの増加基調が確認できるなかで、新たな不安要因として登場した国際紛争が、今日更にその規模と範囲を拡大しており、それに伴う原材料価格高騰や需要の急な冷え込み等の様々なリスクが、将来的にも経営上の懸念材料であり、それが業界の景況が好転しつつあると感じられながらも、コロナ禍以降長期にわたる不況下で染みついた将来的な経営リスクに対する不安感により、新規の設備投資はおろか設備更新すらも躊躇せざるを得ない要因になっているので、特に政府には状況によって臨機に適切に対策を講じてくれるとの信頼感を業界全体に醸成するアクションを期待している。
小売業	県央地区共同店舗	協同組合や店舗が活用できる補助金や助成金、またイベントで活用できる補助金などの情報や事例を教えて欲しい。また、県内で活動をPR希望の組合や団体様を紹介して頂けると幸いです。
	燃料	揮発油税に課税している二重課税の廃止 燃料油価格激変緩和策の継続と出口戦略の明確化 物価上昇、円高への対応
サービス業	旅館、ホテル	政府は賃金アップを盛んに言われているが、中小企業のホテル、旅館ではかなり厳しい状況にあり、賃金アップができないと離職者が増えることが心配である。
建設業	総合	年末になり、各組合員の工事受注量も安定してきた。それに伴い工事のダンピング受注も減った。工事発注の平準化をより一層進めていただきたい。

月次景況調査 11月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	11月	10月	前月比	11月	10月	前月比	11月	10月	前月比
景 況	▲ 10.0	▲ 14.0	4.0	▲ 15.4	▲ 19.2	3.8	▲ 4.2	▲ 8.3	4.1
売 上 高	▲ 6.0	0.0	▲ 6.0	▲ 11.5	▲ 15.4	3.9	0.0	16.7	▲ 16.7
収 益 状 況	▲ 18.0	▲ 22.0	4.0	▲ 23.1	▲ 23.1	0.0	▲ 12.5	▲ 20.8	8.3
販 売 価 格	26.0	28.0	▲ 2.0	11.5	19.2	▲ 7.7	41.7	37.5	4.2
取 引 条 件	▲ 14.0	▲ 14.0	0.0	▲ 11.5	▲ 11.5	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0

中小企業月次景況調査(令和5年11月)DI値(前年同月比)

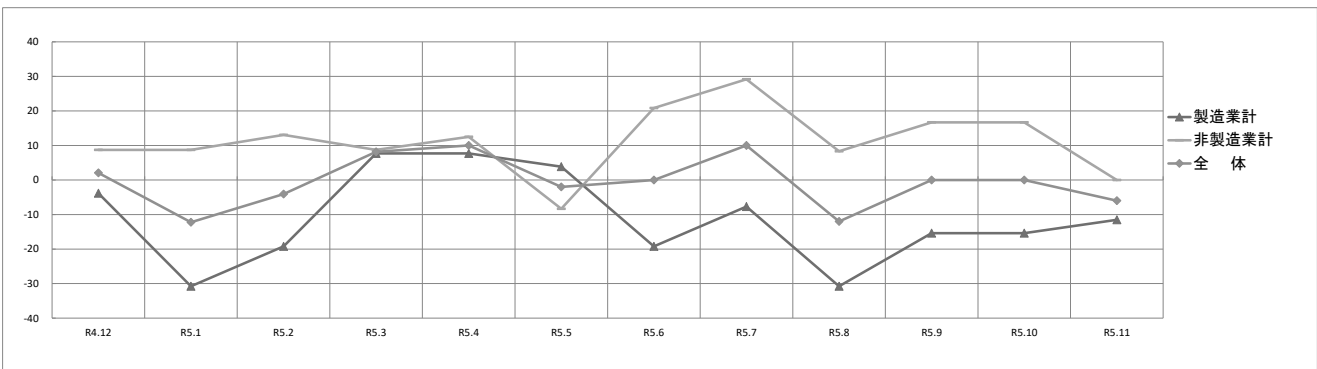
	売上高					在庫数量					販売価格					取引条件					収益状況					資金繰り					設備操業度					雇用人員					業界の景況					
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)									
		増加	不変	減少	業界別		増加	不変	減少	業界別		上昇	不変	悪化	業界別		好転	不変	悪化	業界別		好転	不変	悪化	業界別		好転	不変	悪化	業界別		上昇	不変	悪化	業界別		増加	不変	減少	業界別	好転	不変	悪化	業界別		
製造業	食料品	33.3	3	2	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	50.0	3	3	0	6	0.0	0	6	0	6	16.7	1	5	0	6	△ 33.3	0	4	2	6	33.3	2	4	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	1	4	1	6
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
	木材・木製品	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 40.0	1	1	3	5	0.0	0	5	0	5	40.0	2	3	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	1	1	3	5	0.0	1	3	1	5	△ 20.0	1	2	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	1	1	3	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	1	1	1	3
製造業計	△ 11.5	5	13	8	26	△ 15.4	0	22	4	26	11.5	5	19	2	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 23.1	2	16	8	26	△ 11.5	1	21	4	26	△ 3.8	4	17	5	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 15.4	3	16	7	26	
非製造業	卸売業	33.3	1	2	0	3	33.3	1	2	0	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3
	小売業 (商店街含む)	△ 8.3	4	3	5	12	0.0	1	10	1	12	41.7	6	5	1	12	△ 25.0	0	9	3	12	△ 25.0	2	5	5	12	△ 25.0	0	9	3	12	△ 16.7	0	10	2	12	△ 8.3	2	7	3	12					
	サービス業	50.0	1	1	0	2					50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2						
	建設業	△ 20.0	0	4	1	5					20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5						
	運輸業	0.0	1	0	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2						
	非製造業計	0.0	7	10	7	24	6.7	2	12	1	15	41.7	11	12	1	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 12.5	3	15	6	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 8.3	1	20	3	24	△ 4.2	3	17	4	24					
全体	△ 6.0	12	23	15	50	△ 7.3	2	34	5	41	26.0	16	31	3	50	△ 14.0	0	43	7	50	△ 18.0	5	31	14	50	△ 12.0	1	42	7	50	△ 3.8	4	17	5	26	△ 10.0	1	43	6	50	△ 10.0	6	33	11	50	

D I 値推移表 (R4. 12月 ~ R5. 11月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	33.3	33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	33.3
製造業(食料品製造業以外)	10.0	▲ 30.0	▲ 15.0	0.0	0.0	15.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 30.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0
製造業計	▲ 3.8	▲ 30.8	▲ 19.2	7.7	7.7	3.8	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 11.5
卸売業	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 66.7	0.0	66.7	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3
小売業(商店街含む)	0.0	27.3	0.0	9.1	16.7	▲ 25.0	8.3	16.7	16.7	33.3	0.0	▲ 8.3
サービス業	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0
建設業	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	▲ 40.0	40.0	40.0	▲ 20.0
運輸業	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0
非製造業計	8.7	8.7	13.0	8.7	12.5	▲ 8.3	20.8	29.2	8.3	16.7	16.7	0.0
全体	2.0	▲ 12.2	▲ 4.1	8.2	10.0	▲ 2.0	0.0	10.0	▲ 12.0	0.0	0.0	▲ 6.0

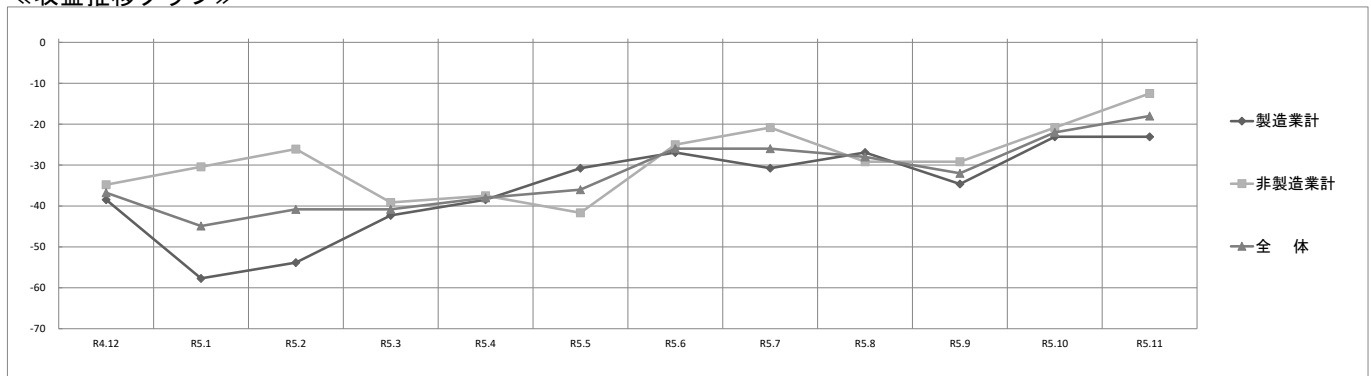
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11
食料品製造業	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 38.5	▲ 57.7	▲ 53.8	▲ 42.3	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 23.1
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0
サービス業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 34.8	▲ 30.4	▲ 26.1	▲ 39.1	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 12.5
全体	▲ 36.7	▲ 44.9	▲ 40.8	▲ 40.8	▲ 38.0	▲ 36.0	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 28.0	▲ 32.0	▲ 22.0	▲ 18.0

《収益推移グラフ》

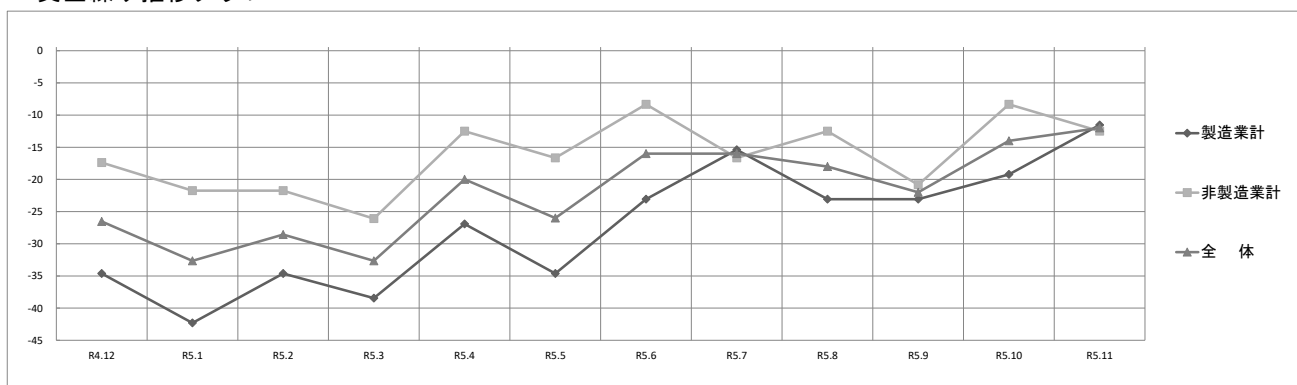


D I 値推移表 (R4. 12月 ~ R5. 11月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	0.0	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 5.0
製造業計	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 11.5
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 8.3	▲ 25.0
サービス業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 17.4	▲ 21.7	▲ 21.7	▲ 26.1	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 12.5
全体	▲ 26.5	▲ 32.7	▲ 28.6	▲ 32.7	▲ 20.0	▲ 26.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 22.0	▲ 14.0	▲ 12.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 66.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 38.5	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 15.4
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 66.7	0.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 18.2	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 25.0	8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3
サービス業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
建設業	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 30.4	▲ 17.4	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	4.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 4.2
全体	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 24.5	▲ 24.5	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 24.0	▲ 18.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 20.0	▲ 10.0

《景況推移グラフ》

